

小学校・福祉施設に ゲノム編集トマトが 配布される!?

受け取り拒否を求める要望書を各自治体に提出します



サナテックシード社・パイオニアエコサイエンス社 竹下達夫氏

ゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の種苗を、障がい児介護福祉施設や教育施設に無償配布します。
福祉施設への配布は 2022 年、教育施設は 2023 年に開始する予定です。

ゲノム編集 とは?



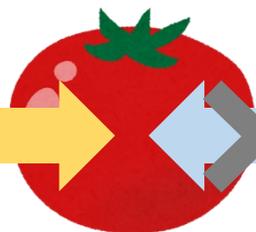
「ゲノム編集」で品種改良のトマト 一般への販売開始 国内初
2021年9月15日 17時34分

生き物に元々備わっている遺伝子を一部壊すことで、特定の性質をもつ作物や生物を生み出す技術です。昨年9月からトマトが一般販売され始めました。

マダイ・小麦
じゃがいも
など開発済み



GABA
合成促進
遺伝子



GABA
合成阻害
遺伝子

アクセルとブレーキのバランスを壊し、GABA を多く作らせる

ゲノム編集 問題点は?

ゲノム編集は
「元々持っている遺伝子の一部を破壊するだけ」
「他の他の遺伝子を組み込むことはしない」
「正確に遺伝子操作できる」
「自然の突然変異と同じ」と言われていますが…

▼意図しない変異を起こす恐れが指摘されています。

>> 標的以外の遺伝子を破壊し、新たなアレルゲンや発がん性物質などが作られる恐れがあります。また意図しない遺伝子が組み込まれていたケースも発見されています。

ゲノム編集された牛に
抗生物質耐性遺伝子が
組み込まれていた



ゲノム編集されたマウス
に牛やヤギの遺伝子が
組み込まれていた



▼表示義務がなく、安全性審査や環境影響評価もなされていません。

>> 日本政府は「ゲノム編集は突然変異と同じ」「ゲノム編集食品を検出する方法はない」という考えの元、食品としての安全性審査を行わず、表示義務も設けていません。消費者庁は届け出をするように求めています。科学者は遺伝子変更部分の情報があれば、検出方法が開発可能であると言っているのに、その声は無視されています。一般の畑で栽培されれば他の作物と交配してしまうのに、その影響も考慮されていません。

安全性や環境への影響が分からないまま流通しているゲノム編集食品。
学校や施設に配られて、子どもたちがいつの間にか口にしていてもいいですか?

世界ではゲノム編集について様々な問題点を指摘する研究が発表されています。「ゲノム編集-神話と現実」で詳しくご覧ください!
あいコープでも冊子版の販売を行います

ゲノム編集の分かりやすいガイドブックが出来ました!

科学的に検証された事実を基に、ゲノム編集の神話と現実を全8章で詳しく解説。PDFの無料オンライン版と、手にとってじっくり読める冊子版の2種をご用意しました!



ダウンロード、冊子購入お申し込みはコチラから▼
<https://okseed.jp/genomemyths.html>

A4 52P フルカラー 冊子版300円

定価 300 円のところ

今回限り!!組合員特価

200 円

注文番号 000827

注文受付: 2/14~3/4
(2/21 から順次配送予定)